

コロナ不況 持続化給付金が入金

これでがんばれる！



民商の書き込み会で申請後1週間で持続化給付金が入金され、喜ぶKさん夫婦

深刻なコロナ不況が広がる中、奈良民商は持続化給付金、感染症拡大防止協力金の申請支援にとりくんでいます。5月7日から開催している緊急書き込み会に83人が参加し、12人の会員に持続化給付金（100万円）の入金がありました。20日現在、事務所には「民商で申請してよかった」「これで商売がんばれる」などの声が寄せられる一方、「2週間経つのに入金がない」「申請に不備がありました、とのメールが届いた」などの相談も寄せられています。

奈良民商は引き続き申請支援に全力を挙げるとともに、制度の改善や継続を国・県・市に求めることを決めています。給付金、協力金などコロナ対策はどんなことでも民商にご相談下さい。

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naramsyo.jp

記帳会

【日時】
6月17日（水）
13:30
【持ち物】
領収書・帳簿
筆記用具・電卓



絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。

お客さんゼロの日も

不安でいっぱい

そば店を営むKさん夫妻（大宮支部）は2001年の創業以来、今年で19年目を迎えます。

緊急事態宣言が出された4月7日以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で客足が大きく減り始めました。佐保川のお花見でにぎわう時期にお客さんがゼロの日も。こんなことは初めてとKさん。売上は例年の半分まで落ち込みました。初めての経験にKさんは「サーマ・ショックや3・11を乗り越えてきたけれど、コロナは未曾有の災害。この先どうなるか不安でいっぱいになった」と話します。

奈良県コロナ対策融資を獲得

國本幸子さん（美容） 富雄 國本さんは、外出自粛の影響（支部）はさきごろ、奈良県の新型コロナウイルス感染症対策融資、100万円（無利子・無保証料）を獲得しました。

國本さんは、外出自粛の影響で来客が激減。固定費などの支払いに充てるため、民商の支援を受けて銀行に融資を申し込んでいました。



「お客さんのために、これからがんばりたい」と元気に話す國本幸子さん（左）と従業員の三浦恵子さん（右）

民商で給付金を申請

1週間で入金される

Kさん夫婦は12日、民商の緊急書き込み会に参加し、持続化給付金を申請。19日に銀行で通帳を記帳したところ、100万

円の入金を確認することができました。

インターネットをしていないので、民商で申請できて助かった。入金も早くありがたい。これを活用してがんばりたい」と話しています。

コロナに負けない！

住出し 中西めぐみさん



「ミ・ナーラ」で「お弁当販売会」に出店する中西めぐみさん。5種類を販売。1個500円です。

「お弁当販売会」で奮闘

コロナに負けないとくりくみにチャレンジしているのは、西九条町で住出し料理店を営む、中西めぐみさん（南支部）。娘の愛望（まなみ）さん、夫の隆さんと一緒にショッピングセンター「ミ・ナーラ」（一条大路南）が主催する「奈良地域飲食店応援プロジェクト・お弁当販売会」に応募して出店し、4月25日から毎日、11時から13時の時間帯、弁当の販売で奮闘しています。

やってみよう」と

販売会」出店を決意

インターネットでイベントを見つけた中西さん。お店のスタッフ

フに相談をすると、「ミ・ナーラ」の中で惣菜を売っているんだから、弁当を買う人はいないのでは」などの意見が出ましたが、中西さんは やってみないと結

果はわからない。やってみよう」と決意。ミ・ナーラでの弁当販売を開始しました。

売り切ることを目標に

5月末までがんばる

お弁当販売会」は毎朝10時40分から出店場所の抽選が始まり、入口に近い良い場所から順番に場所が決まるシステムです。19日、この日は入口から一番遠い場所での営業となり、今日はアカンかったね」と残念そうに話す中西さん。住出し部門はお店のスタッフに任せています。弁当部門は、私と娘、夫で回しています。今の時期は食中毒にも気を配らないとならないので大変」 お弁当部門は、



感染防止のためにシートを張っています。

売上より売り切ることを目標に5月末までがんばります」と笑顔で話していました。

売上減50%未満も対象に

持続化給付金改善を

また、中西さんは 持続化給付金を申請したいけれど、50%以上の売上減にはなっていないので申請できない。減少率に応じた補償が受けられるよう、制度の改善を求めたい」と話していました。



「ミ・ナーラ」の北側通路に6店舗が出店しています。